

体験活動型＋講演会型（小学校）

| | |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学 校 名 | 揖斐川町立大和小学校 |
| 実 施 日 時 | 令和元年8月3日(土)…夏季休業中の土曜日 |
| 会 場 | 大和小学校 体育館 |
| 参 加 人 数 | 親子で参加：11組(24人)の親子 |
| 学習課題(分野) | 「親子で木育教室」 |
| 運営者の願い | <p>年4回の家庭教育学級のうち、体験型家庭教育学級を公民館と共催の形で行っています。3回（「和菓子作り教室」「谷汲あられ工場見学・焼煎餅体験」「アロマキャンドル作り教室」）は、PTA 母親委員会が中心となり、夏休みに行う「親子木育教室」は、公民館が中心となって企画・運営しています。</p> <p>親子のふれあいの場、会員同士のふれあいの場、生涯学習の学びの場とするだけでなく、地域の商店や工場、地域の自然環境と絡めた活動を取り入れることで、ふるさとを愛する心を育みたいと考えています。また、「親子で木育教室」では、親子で「森の話」を聞いたり、地元の木材を使った「もの作り」をしたりすることを通して、森や森林資源に対する意識を高め、「森を愛し、大切に作る心」を育てたいと考えています。</p> |

学 習 の 内 容

<活動内容>

1 ミニ講演会「森のお話」

講師 小寺春樹 先生
(岐阜県里山インストラクター)

- ・里山にある森の役割
- ・森を守り育てる活動

身近にある自然の大切さを教えていただきました。



2 親子で、「杉の木を使って木製の箱を作る」

内容 あらかじめ切断されている木材にくぎを打って、箱を形成していく。

材料 県内産の杉板（大まかな加工済み）
・公民館が依頼した木工指導講師が、板材を加工

道具 かなづち・飾り付けたいもの（木の実・ボタン・リボンなど）

参加費 500円（1セット）

参加者 親子で11組（24人の親子）

3 閉会：完成した棚と一緒に参加者全員で写真撮影

<アンケートより>

○子どもの感想

- ・私は、板にあいているあなに、ぼうを入れるのがとてもむずかしかったです。でも、お父さんにやってもらい、うまくできたのでよかったです。
- ・おじいちゃんに、かなづちの向きや打ち方を教わり、左右、形が違うのも勉強になりました。

○保護者の感想

- ・木のことが学べたのでよかったから、来年も参加したいです。



ポイント

◎公民館と共催するとい いこといっぱい

- ・公民館と地域とのつながりが深く、講師等、地域の人材確保の幅が広がります。
- ・専門技術をもった方が木材を加工し、親子で作りやすいように事前準備をしてくださるので、活動がスムーズに行えます。
- ・会場が公民館となり、土日でも、調理室、多目的室などの施設が使えるので、家庭教育学級の休日開催が容易になります。土日開催の方が、保護者が仕事を気にすることなく参加できることもあり、希望者もたくさん集まりました。

ポイント

◎親(父親)の輝く場

木材の加工ということで、例年、父親の参加がとて多くあります。両親で参加する家庭や祖父が参加する家庭もあり、父親と触れ合う大切な時間となっています。

また、今年は「棚作り」ということで、どこに置くか、など話しながら作業する姿が多く見られました。

ポイント

◎会員同士のつながりを 生む設定

会場の準備から片付けまで、多くの親子に協力してもらい、スムーズに運営できました。作業中はもちろんですが、準備や片付けの中での会話も弾み、会員同士のつながりも生まれました。